



希望

邑智小だより

9月25日
水曜日
発行所
美郷町立
邑智小学校

邑智小学校【学校教育目標】

知・徳・体の調和的な発達をもとに自立・共生をするための力を育てる教育

笑顔いっぱい

九月二十一日(木)、さわやかな秋空のもと、五年生がたわわに実った高畑の田んぼに行き、稲刈りをしました。



田んぼがたくさんある美郷町ですが、機械が進み農作業の手伝いをすることはあまりないようで、ほとんどの子どもたちは初体験だったようです。山本様と清水様に鎌の持ち方からいねいに指導してもらい、いざ黄金色に輝く田んぼへ。ぎこちなかった手も次第に慣れ、ザクッザクッとリズムに刈っていました。泥だらけになりながらも、みんなで収穫の喜びを味わい、笑顔が広がりました。



最後は力を合わせて稲はでを立て、天日干しをしました。乾燥したのち、脱穀へと作業は続いていきます。

川面にも笑顔いっぱい



一学期に天候不良や増水のため延期していた「カヌー教室」を、一年生と四年生が行いました。二十一日(木)は、一年生。初めてのカヌー体験ですが、教室は朝からワクワク、ソワソワ。楽しみでしようがない、そんな空気でいっぱいでした。



タツカー先生大人気

タツカー先生が来られて四週間が過ぎました。一緒に給食を食べたり、運動会を楽しんだりする中で、みんなすっかり仲良くなりました。タツカー先生の日本語もめきめき上達し、驚くばかり。子どもたちも、英語と日本語を駆使しながら会話を楽しんでいます。



ちょっと気になる記事が・・・

今どきの子どもの危ない言語事情 ■スマホ世代の子どもたち

今の子どもたち、特に幼児や低学年の子どもたちの言語環境は、スマホなどの登場によってすさまじく変わってきています。

よく目にする光景は、お母さんたちが集まって無言でスマホを見ている、その脇でベビーカーに乗った結構体の大きい子どもたちが放置されているような状況です。言語、というのは聞いたことがなければ覚えられません。日本語で話しかけられていないから日本語がわからなくなってるんです。そうするとどうなるかと言えば、保育園で職員に「お膝においで」と言われても「膝」の意味がわからないから来ない。～中略～日本語が獲得されていないんです。だから「膝はここ」「肘はここ」などと全部言語化してやらなければなりません。聞いたことがない日本語はわかりませんが、一度説明してもらえれば理解できるのですから、誰かが説明しないと知らないんです。

～中略～ 子どもの言語環境を丁寧にみたり、上手に言葉を獲得できるようにしていかなければならない時代に入っているのです。

巻頭インタビュー 「子どもの学びを支える本の世界をつくる」 赤木かん子 児童文学評論家
2017 新教育課程ライブラリII 〈Vol.8〉 ぎょうせい

みな様どのように思われますか？ 言葉と体験や具体物が結びつかなければ、言語としては働かないと改めて思いました。

秋の夜長、テレビやスマホを消して、お子さんと一緒に本を読んだり、語り合ったりして、「言葉」を獲得する手助けをしてみられたらいかがでしょうか。

2学期は、
「美しい日本語をつかおう」
を合言葉に、「言葉」に焦点を当てた取組もしています。



ふるまい邑智

◎あいさつ 返事 言葉づかい ◎掃除 整頓 はきものそろえ ◎集団行動 立腰 廊下歩行

運動会を通して学ぶ

運動会を終えた20日(木)の1校時、校庭でなにやら拾う6年生の姿が…。よく見ると、校庭に落ちている運動会で使ったポンポンから抜け落ちた細いナイロン紐を拾っているではありませんか。そしてだんだんと6年生の姿が増えてきました。

1時間かけて運動会で使った道具を片付け、デコレーションを描いた図工室を掃除し、最後に黙々と校庭をきれいにしていました。

6年生は、最高学年として多くのことを学んだ運動会になりました。



みんなで気をつけましょう

21日(木)、秋の全国交通安全運動が始まりました。通学路では見守りを強化してもらっています。悲惨な事故に遭遇しないよう、繰り返し指導をお願いいたします。

